

語り継がれたい
豊平の歴史

煉瓦造りの
とよひり文化財

かつてりんごの一大生産地だった豊平。区内には、りんご倉庫を中心に、煉瓦で造られた歴史的な建造物が大切に残されています。今回は、その中でも国の登録有形文化財になっているりんご倉庫と取水塔を紹介いたします。この夏は、身近にある煉瓦造りの建物を見学してみませんか？

【沼田家住宅旧りんご倉庫】
これが倉庫!?
見事なアーチ飾り

この地でりんご農園を営んでいた沼田家が、リンゴの保管用に建てたもの。入口上部の大ぶりなアーチ飾りが人目を引きま。左脇にある土で覆われた煉瓦倉庫は、煉瓦の色が微妙に違っており、こちらは昭和32年頃に、月寒の旧軍司令部が壊されたときに放出された煉瓦で増築したものの。煉瓦は大きさがまちまちだったり、欠けたりしていますが立派に再生されています。

所在地 西岡4条10丁目 建築年 昭和28年
用途 りんご倉庫
特徴 小端空間積み
煉瓦 米澤煉瓦(野幌)
増築部分は月寒の旧軍司令部の再利用
見学情報
内部観覧不可
敷地外からのみ
観覧可



2階屋根の内側は船底のような造りに。

アーチ飾りの中央部には沼田家の紋章が描かれています。

西岡
2006年11月
登録

【柳田家住宅旧りんご蔵】
札幌最古の
煉瓦造りのりんご倉庫

現在確認されている札幌最古のりんご倉庫。それまでりんご倉庫は安価な札幌軟石で建てられていましたが、大正末にこの倉庫が初めて煉瓦で造られました。切妻屋根で、三角形の破風が見える両面に鉄の扉が設けられ、開口部には意匠を凝らした庇があります。

所在地 平岸2条5丁目
建築年 大正末ころ 用途 りんご倉庫
特徴 屋根は切妻瓦ぶき／札幌軟石りんご倉庫は解体済み／煉瓦の積み方は、煉瓦の小口と長手を交互に並べるフランス積み
見学情報
内部観覧不可
敷地外からのみ
観覧可



平岸
2012年8月
登録

軒には飾り積みが施され、屋根には瓦がふかれています。

登録有形文化財とは?

～貴重な国民的財産～

第2次大戦後、都市化が進みつつあった日本では、近世末期や近代以降の多種多様な建造物が、その建築史的・文化的意義や価値を十分認識されないまま取り壊されることが問題となりました。文化財「登録」制度は、それまであった文化財「指定」制度に比べて規制などを緩やかにし、活用しながら保存するために生まれました。現在、全国で約9,000件の建造物や美術工芸品が登録されており、札幌市内では札幌市資料館(旧札幌控訴院)、日本基督教団札幌教会(旧札幌美以教会堂)など17件の建造物が国に登録されています。